



認定 NPO 法人

富士山測候所を活用する会

【様式 1】

夏期観測 2022 研究速報(プロジェクト報告書)

1.氏名

(和文) 村田健史

(英文) Ken T. Murata

2.所属

(和文) 情報通信研究機構

(英文) National Institute of Information and Communications Technology (NICT)

3.共同研究者氏名・所属

(和文) 村上雄樹・情報通信研究機構、菊田和孝・情報通信研究機構、長妻努・情報通信研究機構、東海林淳二・情報通信研究機構、川鍋友宏・情報通信研究機構、山本和憲・情報通信研究機構、鴨川仁・静岡県立大学、深沢圭一郎・京都大学、小林一樹・信州大学、水原隆道・株式会社クリアリンクテクノロジー、金野太一・株式会社 IoT コンサルティング

(英文) Yuki Murakami・NICT, Kazutaka Kikuta・NICT, Tsutomu Nagatsuma・NICT, Junji Tokairin・NICT, Tomohiro Kawanabe・NICT, Kazunori Yamamoto・NICT, Masashi Kamogawa・University of Shizuoka, Keiichiro Fukazawa・Kyoto University, Kazuki Kobayashi・Shinshu University, Takamichi Mizuhara・CLEALINK TECHNOLOGY Co., Ltd., Taichi Konno・IoT Consulting co.,Ltd.

4.研究テーマ

(和文) 被災地におけるバッテリー駆動型映像伝送システムの運搬・設置を含む実証実験

(成果) 本実験においてはこれまで研究参加者のグループが研究・開発を行ってきた映像伝送システムおよび LoRa の通信局を富士山頂に設置し、2022/07/16～2022/09/02 にかけて富士山頂からの動画像・静止画像を取得した。図 1 は設置中の映像伝送システムの様子であり、図 2 は本システムから撮像された静止画像である。また、LoRa 通信局との通信実験については 2022/08/14～2022/08/15 にかけて静岡県内にて LoRa 通信子機を用いて通信実験を行い、駿河湾からの疎通を確認した。



図 1 設置した映像伝送システム (図中の赤丸)



図 2 富士山頂から南を向いて撮像を行った静止画像

(英文) A practical experiment to estimate the usage of visual IoT system on the condition of portable (liquid) battery at the top of the Mt. Fuji
(Results)